

『時事直言』 No.1569 2022年10月4日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

小冊子 Vol.129、「日本の真実特集号」、 本日入稿しましたので来週早々お送り出来ます。

戦後の日本の真実は、驚くほど知られていません。

日本の根幹たる日本国憲法の真実を知れば、安倍元首相が政治生命を掛けて取り組んだ憲法第9条改正が無意味で不毛であることが分かります。

1945年8月14日の日本の無条件降伏に至るまでの戦勝国による日本の支配地の分捕り合戦、さらに戦後の日本支配の為に用意周到に作られた日本国憲法。

サンフランシスコ講和条約と日米安保によるアメリカの対日軍事支配体制継続。

核抜き、本土並み復帰の沖縄の米軍基地に世界最大の核貯蔵庫、核施設、核戦闘部隊が駐屯しているのは何故か。

非核三原則を唱えた佐藤栄作元首相こそが沖縄の核基地化の最大の推進者であったことなど事実に基づいて述べています。

日本国憲法の真実を知れば、何故戦後70年間世界で日本だけが憲法を一言一句たりともいじっていないわけが分かります。

尖閣諸島、南シナ海における中国の領有権問題の報道は巧みに操られています。

何故中国は尖閣諸島で執拗に日本の領海、領空侵犯を繰り返すのか。

尖閣諸島の真実を知れば、それは日本にとって中国に感謝すべきことなのです。

それはいったいどういうことか。

本小冊子 Vol.129 が出版されるまで、誰も否定することが出来ない事実に基づいて「日本の真実」を掘り下げた例はありません。

本誌「時事直言」の読者の皆様にお願ひがあります。

少しでも多くの日本人が「日本の真実」を知らなくてはならないと思っています。

是非社員の方々のみならずお知り合いの皆様にごプレゼントしていただきたい。

これほど良い知的贈答品はないと思います。

私は真実を明らかにするだけでなく、日本の為に生涯をかけて達成しようとしていることがあります。

夢ではなく、実現出来る理想です。

是非とも「小冊子」 Vol.129 をお読み下さり、私と共に目標達成にご協力願ひたいと思います。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。